

2018年度文化講演会が開催されました “世界と日本の水環境問題”を やさしく解説

詳しい記事が

NIAホームページからご覧になれます

発行 習志野市国際交流協会

千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード津田沼6F 〒275-0016

Tel&Fax 047-452-2650

<http://www.nia08.com/>

nia@jcom.zaq.ne.jp

講師：吉村 和就 氏（グローバルウオーター・ジャパン代表、NIA副会長）

2月16日(土)午後2時より、千葉工業大学津田沼キャンパスで恒例のNIA文化講演会が開かれました。

タイトルは「世界と日本の水環境問題」。「人口増加や地球温暖化、水資源は大丈夫なのか？ 水道法の改正、どうなる日本の水道？！」というタイムリーなテーマです。講師はグローバルウオーター・ジャパン代表でNIA副会長の吉村和就さん。国の機関の委員を兼ねるほか、著書や講演、最近はメディア出演も多く、世界を飛び回る「水問題」の第一人者です。

会場は2号館3階の大教室。来場者とボランティアスタッフ合わせて100人が参加の中、NIA会員手綱さんの司会で始まり、崎山征雄NIA

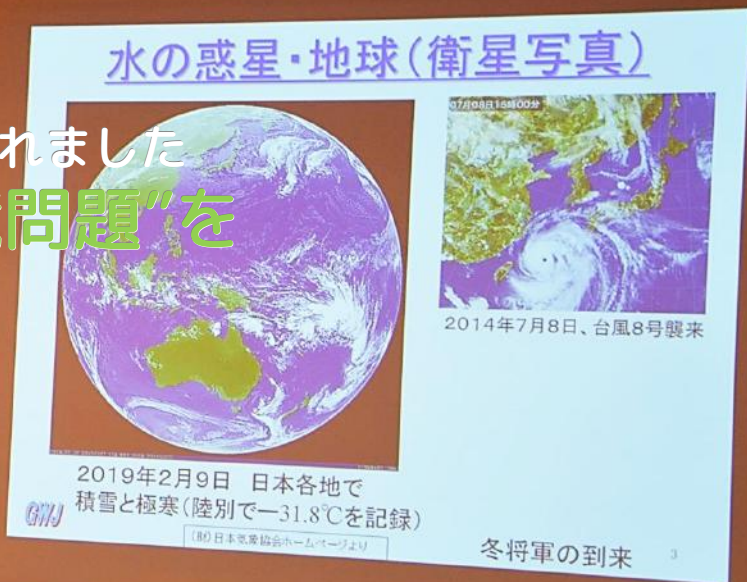
会長、宮本泰介習志野市長の挨拶に続いて講師の吉村さんが登場しました。

講演は、第一部「今、世界の水が危ない」で、世界の水不足、地球温暖化による水資源への影響、解決への国際的な取り組みなどが、第二部は「日本の水資源は大丈夫か？」で、気候変動と水資源、世界に誇れる日本の上下水道、水処理技術が、第三部「日本の水道事業のゆくえ！」で、水道事業の抱える課題(収入減、稼働率低下、老朽化、職員減)、さらに国民の関心が深い水道法改正案の概要、民営化のメリット・デメリット、解決策が、第四部「健康と水～命の水は～」では、なぜ脳に水分が必要か、免疫力を高める水、健康を保つ水、が語られました。

難しくなりがちな話ですが、大きなスクリーンに数字やグラフを使った丁寧な説明はわかりやすく、さらに時折ジョークを交えて聴衆を沸かせる話術はさすがです。さらに、テレビ出演の際のエピソードをビデオも使って紹介するなど、聴衆を飽きさせません。またたく間に過ぎた1時間半。まとめの「安全な水なくして未来なし」の言葉で終了。身近な「水」について学び、楽しめたひとときになりました。

講演終了後、受付で吉村さんは著書『続・水を語る』を、寄付をしてくださったかた一人ひとりにサインとともに手渡し。言葉を交わすテーブルは笑顔に包まれていました。サインを待つ希望者で長い列もできていました。吉村さんは「長時間にわたり熱心に聴講、また多くの人がメモを取っていたことに深く感謝します」と述べていました。

（報告：広報青年部会 秋山勝）



国際交流イベント「Nationality day」を開催しました 国籍を超えた信頼関係を築く第一歩に

原 リー あんず（国際交流部会長）

2月2日(土曜日)13時から15時まで、異文化交流イベント「ナショナルリティーデー」がサンロード6階で開催されました。会員向けの、子供も大人も一緒に楽しめる協会初めての試みです。また国際交流部会とNI-Youthの合同企画でもあります。

発案から実現まで、準備期間に約5ヶ月をかけてあれこれ話し合いを繰り返した末、ついに実現しました。当日は、46名の事前申込中、インフルエンザで子供10名が欠席となりましたが、最終的に37名（大人20名、子供17名）の参加者と、国際交流部会のボランティア12名、NI-Youthのボランティア16名による大所帯のイベントとなりました。

異文化交流イベントにふさわしい世界6カ国の国籍の人たちが集まりました。NI-Youthのリードでそれぞれの国についてのクイズやゲームを行い、子供たちはチームワークで景品目指しての得点取りに大はしゃぎでした。また、大人と子供、国境だけではなく、年齢も超えて楽しいクラフトの時間を過ごしました。心癒される家族のような雰囲気が感じられ、国際交流、異文化交流の原点を見つめ直すことができた心温まる2時間でした。

今後、さらに地域に外国人が増えることが予想され、私たちも共生社会について考えていく必要があります。このような異文化交流イベントを通して、参加者もボランティアもそれぞれが顔見知りとなり、友となり、同じ市民として心地よい信頼関係を築いていくことが、国際交流協会として行う最初のステップではないかとあらためて感じました。

いま国際交流部会では、国際交流サロン——英訳NIA International Exchange Group（いずれも仮名）——を立ち上げ、協会員の皆さんと一緒に市民の国際交流で小さな一歩を踏み出そうとしています。その先に、多言語対応の生活支援や外国人災害時サポート

など、行政と共により具体的な活動へ繋がっていくことを目指します。

これから変化していく新しい社会の中で、私たちそれぞれが探し求める答え、その答え探しのきっかけになるような異文化交流イベントを、皆さんと考えながら楽しく続けていきたいと思っています。

イベント中、参加者の皆さん、ボランティアの皆さん、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。次回のナショナルリティーデーに向けてまた一緒に考えてくださる方大募集です！！

国際交流部会では、5月に習志野青年会議所が行う在住外国人対象の防災イベントに協力します。参加申し込み、およびボランティア希望者のお問い合わせは事務局まで。



これからの活動をめぐって大人による意見交換

国際交流イベント「Nationality day」を開催しました NI-Youthが外国籍の子供たちと交流

渡邊 樹（NI-Youth）

2月2日、NI-YouthはNationality day(ナショナルリティーデー)を開催しました。

国際交流部会との初の合同イベントです。NI-Youthは今春から協会内で国際交流部会の下部組織となります。NI-Youthは、今まで主に習志野市内の留学生を対象としてイベントを開催してきましたが、今回は習志野市内に在住している外国籍の方々、特に子供たちを対象にして「自分の国や他の国の理解を深め、お互いの文化を尊重する」ということを目標にしたイベントを行いました。

初の合同イベントということ、どれほどの参加者がいるが予測できなかったこと、私たちNI-Youthがイベントを開催するのが久しぶ

りであり、運営に手間取ってしまうことなどを考えた結果、イベント参加の声がけをしたのが、協会員の子供たちのみとしました。それでも当初の予定よりもはるかに多くの子供たちが参加してくれました。

私たちは子供たちを楽しんでもらえるように、「世界を知るゲーム」として、アメリカ発祥のクイズゲーム「※Jeopardy!(ジョパディ)」と、数字の代わりに国旗を用いた「国旗ビンゴ」を行いました。ゲームは主に国籍ごとに分けたチームで行いました。各チームにはNI-Youthから数人がリーダーとして担当し、それぞれのチームの子供たちを確認すると同時に、説明がわからなかった点などの補助を行いました。

ゲームが始まるまでは仲良くなってもらえるのが非常に心配でした。言語の壁が立ちましたり、お互いに初対面のチームも多かったりしましたが、ゲームが始まるとすぐに皆仲良く参加できたようです。あらためてゲームなどの「遊び」は国境を越えられるものなのだと思います。

今回のようなイベントを継続的に開催していくことで、まずはNI-Youthの知名度を上げ、ひいてはNI-Youthも積極的に関与している姉妹都市交流事業の知名度も上げていきたいです。そのためにも、今後は習志野市に根差した活動で、イベントの対象とする方々の範囲を広げていこうと考えています。

※Jeopardyは、ジャンルごとに問題難易度で分けられているクイズ。難易度が上がるほど正解した際に得られる点数が高くなる。今回は世界の国々の雑学問題。



国ごとのグループで「国旗ビンゴ」

第56回世界の料理教室が開催されました 和気あいあいと楽しんだネパールの家庭料理

坂本 智子（国際交流部会）

2月19日(火)、菊田公民館にて世界の料理教室「ネパールの家庭料理」が開催されました。講師はギータ・ラニさんです。今回私は、ギータさんのご近所に住んでいるのがご縁で、お手伝いすることになりました。参加者は、ギータさんと3人のスタッフを含む合計17人でした。

インドのニューデリー出身で在日14年のギータさん。ご主人はネパール出身です。お二人はこの企画を引き受けるにあたり、どんな料理がよいか考えてくださいました。その結果、主菜はチキンカレー、副菜はサラダ、デザートはスージーハルワになりました。

今回のコンセプトは「なるべく身近で手に入る材料を使う。作る時間がかからない。幅広い年齢層でも楽しめる。でも、ネパール&インドテイストも入れる。自分も含めて、参加者の皆さんとの交流を楽しむ」です。

準備の段階で、「このスパイスは近所のスーパーで手に入るかしら?」「家庭料理だから普段はスパイスは目分量なの」「自宅ではチリやパクチーは最初から入れてしまうけれど、好みで入れるようにしよう」「チキンは切ってあるのを使ったら、時短が出来るよね、主婦は忙しいから」「日本語を書くのは苦手だけれど、レシピは自分で書いてみるわ」「私の話す日本語は大丈夫かな、伝わってる?」等、いろいろな会話をスタッフと重ね、当日を迎えました。

そして当日。緊張すると言っていたギータさんはどこへやら。参加者の皆さんのフレンドリーさに触れて、すっかり馴染んでいるギータさんの姿を見て、料理を通しての国際交流、とても素敵だなと思いました。もちろん、みんなで和気あいあいと食べた料理がおいしかったことは、言うまでもありません。



完成後の参加者の皆さん。前列左から3人目がギータさん



チキンカレー(中央)、サラダ(右)、スージーハルワ(奥)

日本語教室の新年会が開かれました

1月21日(月)、23日(水)、24日(木)、26(土)の各教室で開催されました。教室には正月飾りやグッズが用意され、学習者はそれぞれ今年の目標をスピーチ、また、かるたなどのゲームや、羽根つき、コマ回しの伝統あそびなどで盛り上がり、親睦を深めました。



日本語教室のボランティア研修会が開催されました

2月13日(水)、サンロード6階会議室で講師に吉田聖子先生を招き、40名の日本語ボランティアが参加して行われました。この日は、ひらがな、カタカナ、漢字ほか文字の使い分けについて考え、また日頃の悩みや失敗例など問題点を話し合いました。それぞれスキルアップと情報交換ができて充実した3時間となりました。

一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。